

性暴力ってなに？

あなたが望まない性的な行為は
すべて性暴力にあたります。

性暴力を受けるのは若い女性というイメージをもたれがちですが、男性や小さな子供も実際に被害にあっており、**年齢、性別に関わらず、誰にでも起こりえることです。**

性暴力は、突然知らない人から受けるだけでなく、**同僚や同級生、友人、知人、夫婦や恋人の間でも起こりえるのです。**

家族や友人の方へ

大切な人が性暴力被害を受けたことを知った時、あなたも動揺しショックを受けるかもしれません。そんな時は、「どうしてついていったの?」など、あなたの大切な人を決して責めたりせず、話に耳を傾け、話してくれてありがとうの言葉を伝えてください。

そして「おかやま心」への相談を勧めてください。

ぜひこのリーフレットの内容を
あなたの家族や友人にも
お知らせください。
社会全体で **性暴力** を
なくしていきましょう。

～皆さんに知って欲しいこと～



出典：令和3年度若年層の性暴力被害予防月間ポスター（内閣府）

そのほか、

- ・同意のない身体への接触
- ・盗撮
- ・性的なからかいや冗談
- ・ストーカー
- ・避妊に協力しない
- ・着替えやトイレを覗く
など

相手がどんな性別であっても、
いかなる理由・関係性であっても…

**同意のない性的な行為は
すべて性暴力です。**

性暴力被害にあった時…

ひとりで
悩まないで

～小さなことでも話してほしい～

(はやくワンストップ)

全国共通短縮番号 **#8891**

おかやま心

086-206-7511

性暴力被害者支援センター
「おかやま心」

「おかやま心」ってなに?

性暴力被害者支援センター「おかやま心」は、
専門スタッフが性暴力の被害にあわれた方や、
そのご家族の相談に応じています。

誰にも相談できない
どうしたらいいかわからない
などの不安な気持ちを話してみませんか。

どこから話せばよいの?

混乱して上手く話せなくても大丈夫。
「おかやま心」は、あなたの気持ちを優先し、
大切なあなたの**こころとからだ**
そして「**これから**」を一緒に考えていきます。

こころとからだを守るため ～適切な処置が必要です～

妊娠や性感染症が心配	産婦人科 医療支援
こころやからだのことが心配	精神科 医療支援
からだに外傷(切り傷など)ができた	その他の 医療支援

緊急避妊や性感染症等の検査などの産婦人科での
処置や精神科での診察など、医療機関にも付き添
います。

＼ 性暴力被害にあった時・・・ /

ひとりで悩まないで

～小さなことでも 話してほしい～

全国共通短縮番号 ▶ **#8891** (はやくワンストップ)

おかやま心 電話番号 ▶ **086-206-7511**
(相談料は無料)



開設日時 月～土 9:00～17:00 (祝日及び年末年始を除く)
上記以外の夜間休日は国のコールセンターが受け付けます。

秘密は
守ります

専門の相談員が
相談に応じます

ご本人の意思を
尊重します

性暴力被害者支援センター 「おかやま心」

必要に応じて
警察・裁判所などへ
付き添います

産婦人科や
精神科へ
同行します

医療費等を
助成します

犯罪被害に
精通している
弁護士を
紹介します